



事例紹介

株式会社市川鉄工所



愛知県豊田市の(株)市川鉄工所は「これからの価値を削り出す」をキーワードに様々なチャレンジしていきます。

コンプレッサーの適正稼働で、年間CO2排出量66トン削減

CN取組の内容

● 豊田市内の中小企業初となる中小企業版SBT認定

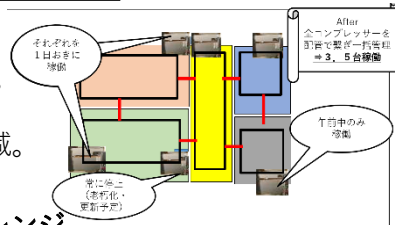
2022年7月に豊田市の中小企業で初めてSBT認定※1を取得。コンサルなどを入れず、削減シナリオ作成から申請までを自社で実施。



地域
初

● コンプレッサー稼働台数の適正化

コンプレッサー稼働を6台から3.5台に適正化。
年間CO2量66トン、
電力費用400万円を削減。



● アップサイクルのチャレンジ

製造工程で発生する端材をアップサイクル。
コロナ禍でも前向きになれるようにとの思いから活動をスタート。



ここがポイント

夕飯のネタになるカーボンニュートラル

社員が子供から学校で両親の仕事でのSDGsの取組を聞かれたことから社会情勢の変化を痛感。夕飯の席で子供や家族に話が出来、「凄いね」と言ってもらいたいとの思いから活動をスタート。

豊田市脱炭素スクールへの参加

排出量削減が思うように進まず、ワラにもすがらる思いで豊田市脱炭素スクールに参加。カーボンニュートラルに対する世界全体の潮流と、削減シナリオの立て方を学ぶ。



企業自体のブランド化

カーボンニュートラルへの取組を主体的に推進することで取引先からカーボンニュートラル貢献賞をいただくなど、自社の価値を高められている。
HPで、自社の脱炭素の取り組みの進め方を公開している。
<https://www.big-advance.site/c/127/1350/info/detail/3>

※1) SBT…Science Based Targetsの頭文字を取った言葉。パリ協定達成のために企業が設定する温室効果ガス削減目標。